

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！



2017年
3月号



【市民活動にこの人あり】第12回
子どもたちと話に聞き入る日本ベ
ルー共生協会の高橋悦子さん。

あの手この手のマークの間のSは、solution(解決)のSです。

第116号 2017年3月10日 大和市民活動センター 拠点やまと発行



最優秀賞 受賞作品「世界は色で溢れている。」

渡辺安梨沙さん／つきみ野中学校3年

空に浮かぶ色とりどりの風船の色、やわらかい花の色、草の色、そして一面を青く染める葵空と海、私が心をひかれた物たちを一枚の絵につめこみました。

2016年度の表紙は、笹倉鉄平版画ミュージアム主催の
やまと子ども絵画大賞入賞作品を掲載しています。
第8回(2016年)のテーマは「色いろいろ」です。

補助金事業の公開プレゼンを開催。

今年は何年より多い5団体から企画申請がありました。認知症ランニングイベントを開く**RUN伴+やまと実行委員会**、親子交流イベントを開く**ママスク大和**、子育てほっとサロンを開く**たんぼぼの会**〔以上「めばえ」〕、第10回やまと国際アートフェスタを開く**やまと国際フレンドクラブ(IFC)**、スポーツボランティア育成・推進事業を行う**やまとスポーツマネジメント設立準備会(YSM)**〔以上「はぐくみ」〕の5団体です。これら団体による公開プレゼンテーションを下記の通り開催しますので、是非お越しください。

日時：**3月11日(土) 10:00~12:30**
会場：大和市勤労福祉会館 3 Fホール
※鶴間駅東口から徒歩6分
主催：大和市・大和市民活動センター

協働事業提案の相談を受付中です。

平成29年度の協働事業提案の事前相談を3月31日まで受け付けています。企画書の提出期間は4月21日が締切となります。全体スケジュールは以下の通りです。なお、事前相談がなくても企画書は提出できますが、していただいた方が、その後の進行がスムーズです。

- ① 1月4日(水)~3月31日(金) = 事前相談期間
- ② 4月3日(月)~4月21日(金) = 企画書提出期間
- ③ 4月17日(月)~5月9日(火) = 協議期間
- ④ 5月10日(水)~5月16日(火) = 申請期間
- ⑤ 5月下旬~6月上旬 = 事業担当課との打合せ
- ⑥ 6月下旬 = 協働推進会議への諮問
- ⑦ 7月1日(土) = 公開プレゼンテーション
- ⑧ 8月上旬 = 協働推進会議からの答申
- ⑨ 8月24日(木) = 市長より結果発表

市民活動課主催／「協働研修」 協働でつくる地域社会

～市民交流施設が拓く可能性～

2017年2月17日(金)
大和市保健福祉センターにて

平成30年度に旧図書館等跡地に市民交流施設が開設されることから、市民や団体間の交流をより促進していくために、関係職員を対象としたミニレクチャーとワークショップによる「協働研修」が開催されました。一般の方にも参考にしていただければと思い、レクチャーの主要部分をご紹介します。



講師

小山紳一郎さん／大和市協働推進会議委員
前・横浜市「にしく市民活動支援センター」長
明治大学・亜細亜大学 非常勤講師

多言語医療問診票の事例



図1

◆そもそも協働とは？

大和市ではお馴染みの行政と市民・NPOによる「協働」。その定義は「社会の課題の解決に向けて、それぞれの自覚と責任の下に、立場や特性を認め合い、目的を共有し、一定の期間、積極的に連携・協力することによって、**公共的な課題の解決**にあたること」(世古一穂『協働コーディネーター』より)。その事例として、小山さんにとっての「協働事始め」となった経験が紹介されました。

◆「多言語医療問診票」という事例

小山さんが(財)神奈川県国際交流協会に勤務時のこと。国際交流NPOから、「在住外国人のために多言語医療問診票をホームページで発信したい。協力してもらえないか」と相談されました。これがきっかけとなり、NPOが医療問診票を提供し、国際交流協会がネットでの情報発信技術を提供する協働事業が生まれました(図1)。現在「多言語医療問診票」は、11科目18言語となり、協働することで新たな価値が生まれた事例です。

◆コスト削減は協働事業の目的ではない

協働事業の目的や期待される効果は、①多様化する市民ニーズへの対応 ②潜在的な地域課題の発見(見える化) ③市民目線での業務の見直しによる行政体制の改善・行政の効率化(コスト削減は目的ではないことに留意)など。

◆協働事業の様々なカタチ

一口に行政とNPOの協働といっても様々な形があります(図2)。両者の主体性の度合いにより、図のAからFまで分かれますが、主にC・Dあたりが協働事業と位置づけられます。ただ、実態としては、支援的協働・下請けの協働・丸投げの協働の3類型が多く見られます(図3)。目指したい協働は、両者が知恵を出し合い新しい「価値」が生まれる**理念的協働・理想的協働**です。

◆理念実現のための具体的な仕組み

大和市には独自の「新しい公共を創造する市民活動推進条例」があり、**新しい公共**、すなわち「市民、市民団体、事業者及び市が協働して創出し、共にこなう公共」として多様な担い手を想定しています。その理念実現の具体的な仕組みとして、協働事業提案制度・市民活動推進基金・市民活動推進補助金制度・協働の拠点(大和市民活動センター)の4つがあります。

◆趣味サークルも公益活動に関心

平成12年の大和市民活動団体実態調査では、趣味やスポーツなどの580団体のうち1/3の団体が「チャンスがあれば社会的な活動を行ってみたい」と回答しており、こうした団体を公益活動につなげる必要性が高まっています。

◆大和市と横浜市との比較

横浜市は区毎にある区民活動支援センターが、市民活動団体と生涯学習団体を両方支援しているのに対し、大和市では、市民活動支援は市民活動センター、生涯学習支援は学習センター(公民館)と分かれています。しかし**新たに開設される市民交流施設は、市民活動センター以外に、青少年センター・シルバー人材センターなどが入居する複合施設となるので、異なる活動分野をつなげるコーディネーションが重要になるでしょう(図4)。**

◆ソーシャル・キャピタルを醸成する

ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)という言葉があります。「人々の協調行動を活発化することで**社会の効率性を高められる**『信頼』『規範』『ネットワーク』といった社会組織の特徴」のこと。市民活動は、このソーシャル・キャピタルが豊かなならば参加が促進され、その活性化を通じて、ソーシャル・キャピタルも培養されるという**好循環**が期待できます。

“協働”事業の様々なカタチ ～行政とNPOの主体性の度合い～

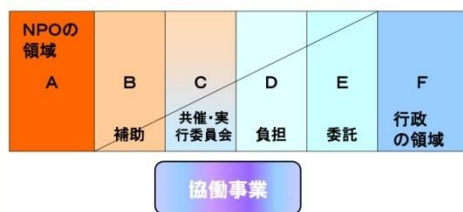


図2

山岡義典『NPO基礎講座』を一部改変

行政とNPOの協働の実態

- 「支援的」協働(行政からの一方的支援)
- 「下請的」協働(NPOの主体性なし)
- 「丸投げ的」協働(行政の主体性なし)

両者の知恵を出し合うことで、**新しい「価値」が生まれる**

「理念的」協働、「理想的」協働

図3

非常勤組織セミナー(2010.2)谷本有美子氏レジュメを改変

大和市の分野別市民団体支援相関図

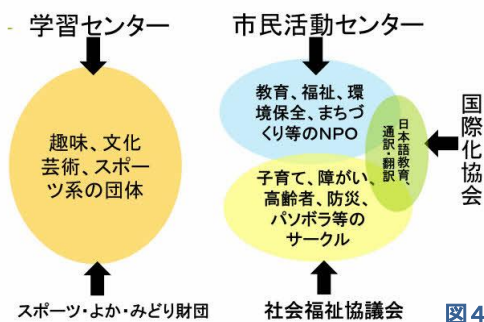


図4

**お気軽に！
定例相談日**

- ◆市民活動相談＝3月13・27日(月)・4月10日(月) ※毎月第2・4月曜の10～17時
 - ◆ボランティア相談＝3月11・25日(土)・4月8日(土) ※毎月第2・4土曜の10～17時
 - ◆パソコン相談＝3月14・28日(火)・4月11日(火) ※毎月第2・4火曜の14～17時
- ※予約不要ですが、事前に電話予約していただいた方が、お待たせすることもなく確実です。

多文化共生は、理想ではなく、 私たちの国にとって必要な現実。

【市民活動にこの人あり】第12回

NPO法人 日本ペルー共生協会 (AJAPE)
高橋 悦子さん

得意なスペイン語を活かし、日本ペルー共生協会 (アハペ) 副会長として活躍する高橋悦子さん。意外なことに語学も勉強もきらいだったという。4人兄弟の次女として神戸生まれ。父は貿易会社を営み、母はお茶の教室を開き、外国人を含め人の出入りの多い家庭で育った。英語を含め勉強は苦手だったのに、高校は進学校に入ってしまい、追試や補習にウンザリ。お華は嗜んだものの、部活はもっぱら帰宅部だった。

進路が見えないなか、親からペルーにいる叔父さんの所に行ってはと持ちかけられ、リマでスペイン語学校に通うことになった。ここで多文化共生の意味や楽しさを実感。多国籍の学生同士の交流から「学ぶって結構いいかも」と思うようになり、2年後に帰国。大学のイスパニア文学専攻に入り、スペイン語の教員免許も取った。

しかし、親の勤めで卒業と同時に結婚。横浜で専業主婦の生活を送るようになるが、2児の子育ての間もスペイン語サークルを主宰するなど、スペイン語を錆び付かせることはなかった。時は1991年。日系人とその家族が定住者として在留できる法改正があり、来日日系人も急増。高橋さんも、川崎市で学校の日本語指導等協力者を務めるほか、在日ペルー人との交流や支援に取り組むようになった。

そして1999年、在日ペルー人によるペルー日本協会が誕生(2005年に法人化し現名称に)。高橋さんもその翌年に参加。大学院で異文化間教育をテーマに修士を取るなど一層の勉強に励むが、それはあくまでも現場での活動のため。新たな知識とこれまでの体験を活かし、日本語とスペイン語の教室、パソコン教室、相談事業などを展開。2009年には、文科省

の委託で定住外国人の子どもへの就学支援事業「架け橋教室」を大和市に開室し、職員も多数雇用した大事業となった。しかし2015年には終了し、現在はスムーズな就学のために事前に言葉や文化・習慣を教える「プレスクール事業」を、大和市との協働事業として2012年から来年度まで継続中だ。大和市外国人児童生徒教育相談員も務めて14年になる。

「協働」は多文化共生にとってもキーワード。仲間や関係者を巻き込み一緒にやることは高橋さんや協会のポリシーでもある。「外国籍の人を多様性のある人材として育てることは、国にとっても資本となるもの。そう認識し位置づけている国もあります。その意味で、多文化共生は理想ではなく、実は私たちの国にとっても必要な現実なのです」。来る東京五輪では「在日スペイン語圏の人が来日スペイン語圏の人をおもてなしできるようにサポートしたい」と抱負を語ってくれた。



協会主催のプレスクール消防署見学(高橋さんは後列右から2人目)



イベント・募集情報



YAMATO映画祭2017 第7回ショートムービーコンテスト 上映会

大和をロケ地に、さまざまな切り口で創り上げた5分間のショートストーリーが多数集まりました。地元愛あふれる魅力満載の力作を一挙上映し、グランプリも発表します。

日時：3月18日(土) 13:00~16:00 (開場12:30)
会場：文化創造拠点シリウス サブホール
※大和駅から徒歩3分
会費：無料・予約不要(直接会場へ)
主催：大和市イベント観光協会
さがみの国大和フィルムコミッション
問合せ：TEL 046-260-5799 (大和市イベント観光協会)

各国の料理・スイーツにさまざまなステージ やまと国際交流パーティー

毎年3月に開催し、各国の料理やスイーツのほか、さまざまなステージが楽しめます。今年は高校生歌姫の藤原星玖愛紗さん、アゼルバイジャン出身のピアニスト グルナラ・アズマさん、和太鼓の古立ケンジさん、トランペット奏者のアレクセイ・トカレフさん他が出演。パンブーダンスも楽しめます。

日時：3月19日(日) 13:30~16:30 (開場13:00)
会場：大和市勤労福祉会館 3Fホール
※鶴間駅から徒歩6分/オークシティ大和向かい
会費：前売/大人1000円(当日1200円)、子ども500円
主催・申込：やまと国際フレンドクラブ
TEL 080-5451-0432 (留守電)
MAIL info@ifc-yamato.com

清掃活動の年間予定が決定! 引地川を一緒にキレイにしませんか?

引地川水とみどりの会では、2004年から引地川の子清掃活動を行っており本年度は下記の通りです。市の内外を問わずどなたでも参加できますので、まずはお気軽にご連絡ください。

日程：4月1日(土) 雨天時4/8(土) 草柳
4月15日(土) 雨天時4/16(日) 草柳
※アースディクレーンアップ
5月6日(土) 雨天時5/13(土) 草柳
5月27日(土) 雨天時5/28(日) 上草柳
※大和市一斉清掃日
6月17日(土) 雨天時6/24(土) 草柳
7月8日(土) 雨天時7/9(日) 上草柳
7月29日(土) *雨天時7/30(日) 草柳
8月26日(土) *雨天時8/27(日) 草柳
*印は中高生夏休みホップランティヤ体験活動
9月9日(土) 雨天時9/10(日) 草柳
10月14日(土) 雨天時10/21(土) 上草柳
11月18日(土) 雨天時11/25(土) 草柳
※大和市一斉清掃日
12月2日(土) 雨天時12/9(土) 草柳

区間：草柳は、大下さくら橋~厚木街道トンネル
上草柳は、相鉄線トンネル~東名高速トンネル
集合：9:00までに草柳自治会館前(草柳3号橋際) /要申込
注意：肌の露出が少なく汚れても濡れてもよい服装・履物で。帽子着用。必要なら着替え持参。長靴禁止。貸靴も可。清掃用具は会が準備。終了予定は13:00。
申込：引地川水とみどりの会事務局 info@hikijigawa.com
TEL 046-264-8957 FAX 046-263-0698



★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆

★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆

----- <出演しました！> 録音CDが大和市民活動センターにあります。 -----

第285回 ◆2月7日放送分
こども食堂プロジェクト@やまと
~SOSが出たときへの第一歩~

永井さんはワーカーズコレクティブ チャイルドケアの理事長。16年来の子育て支援のなかで、預かっている子どもたちが家で一人で待っていたり、家庭内に不和があったり、経済的に厳しかったりする状況が見えてきました。これまで団体としても個人としても支援してきましたが、仲間と一緒に支援できたらと、6人の意志ある仲間と『たまめし食堂』を始めたそうです。「SOSが出た時に何かしてあげたい。その第一歩です」と決意が伝わってきました。

滝本さんは知的障害児の放課後支援をするサポートハウスワン・ピースの理事長。「頑張っているのに周囲の理解が得られず毎日が苦しい人たちに、もっと頑張りなさいとは言えず、悩みを共有して応援したい。この食堂がその人たちの持てる力を発揮できる場になれば」と語り、穏やかながら熱い思いが伝わってきました。毎月第4土曜日開催で、子どもは無料、大人は200円と決め、料理や送迎など役割分担して運営しています。当日余った食材は持ち帰ってもらい、ご両親から感謝の言葉も届いています(本紙前号の「市民活動にこの人あり」もご参照ください)。

第286回 ◆2月21日放送分
就労移行支援事業所 ミライてらす
~生きづらさは、根性論では解決しない~

障害があるかないかわからないままに過ごし、うまくコミュニケーションが取れずに孤立したり、職場にいらなくなってしまったりして、生きづらくなった人たちのサポートをしています。パソコンスキル・ビジネスマナー・基礎体力作り・資格取得対策など、心理学を取り入れ、個人に合った就労に向けた訓練を行っています。「まずは自信をつけてもらうことから」と就労支援員の柳生さん。

社会に出てから生きづらさを感じて自信を失くして引きこもってしまう人たちには、根性論や自己責任論では解決しない現状があることを理解して支援する必要があります。「もし、身近に生活を改善したい、障害があっても就労したいという方がいましたら、是非『ミライてらす』にお越しいただき、はじめの一歩を踏み出してください。私たちが全力でサポートします。046-240-1967までお気軽にお電話ください。3月17日の16:00~18:00、23日の10:00~12:00には、大和市勤労福祉会館2階小会議室で、自立支援就労相談会も開催します。予約不要です」とサービス管理責任者の鐘ヶ江さんは参加を呼びかけました。

3月の
出演

第287回 ◆3月7日放送 **山下貢治(通称:のん)**
デイサービスなどの施設を訪問し、ギターの弾き語りの個人ボランティアをしています。

第288回 ◆3月21日放送 **柏木学園 短歌書道部**
これまで3年間ボランティア活動に携わっていた高校3年生に、その体験を振り返ってもらいます。

※FMやまとは、ネットにつながったPCなら、世界中どこでも聞けます。→FMやまとホームページの「ネットラジオ」をクリック!

★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆



◆ 囲炉裏のある部屋にお雛様が飾られた友人宅で大人の雛祭り。お琴の生演奏を聴きながらお点前を頂く贅沢な時間。おもてなしの心が伝わってくる設えとお料理におしゃべりが続く。素敵な仲間のいる幸せを実感。 石川

◆ 女子8名、箱根湯元で一泊研修。みな、仕事が終わってから集まった。ひと風呂浴びて夕食。よく食べ、よく飲み、夜中まで話は続いた。勿論!仕事の情報共有、意見交換。それにして、みんな夜中に食べ過ぎ! 関根

◆ 旧商工会議所取り壊しの地響きの中、センター駐車場には毎朝たくさんの鳥が来ます。意外に気が強いのは小さなメジロ。大きくても集団仲間に頼るオナガ。縄張りばかり気にしているヒヨドリ。遺伝かな～。 望月

◆ 平成30年にNHKで西郷隆盛を主人公にしたドラマ西郷どんがはじまるそうです。指宿も篤姫とゆかりの深い人物だけに篤姫ブームに上乘せし西郷どんブームに期待して準備に余念がありません。只今帰省中。 櫻井貞代

◆ 昨年10月に開催された第74回共育セミナーで「柿は万能の果物で元気の素。蜜柑もとても良い」と聞いた。それ以来せっせと摂り続けたところ、この冬は風邪をひかなかった。みなさんも試してみてください。 中山

◆ 3/3は雛祭り。私が小学生のころは春休みになってから飾った。つまり旧暦。で、関東に来て4/3まで飾ったらかなりの違和感。なぜ?今年もお雛様はお蔵(箱?)入り。気持ちにゆとりがないなあ…。来年こそ! 櫻井み

◆ 「あなたの話し方は一本調子で、せっかくのいい話でも聞いていて退屈してしまう」と、ある方から指摘を受けた。そこで思い出したのは、某テレビショッピングの社長の声。真似してみるか…。 市民活動課/椎木

◆ 自宅のPCの起動がどんどん遅くなり、遂に起動しなくなり新PCを購入。モニタにながが、また起動せず「ゲッ、初期不良?勘弁してよ!」と思ったら、PCではなくモニタの故障と判明。まさかの結末でした。徳留

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手この手」第116号 発行日: 2017年3月10日

発行: 大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館:月~土 9:00~18:00>
〒242-0021 大和市中央 1-5-1 (大和駅南口より徒歩2分)
※祝日も9:00~18:00で開館しています。

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788
E-MAIL:yamato@ar.wakwak.com
URL:http://www.kyodounokyoten.com/